

物理科学科

人材養成および教育研究上の目的

物理科学科は、物理学とそれに関連する分野の探究を通して社会の発展と福祉に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、力学・電磁気学・波動・熱力学・量子力学などに代表される物理学と、それに関連する幅広い応用分野の既知の事実と理論を学びながら、物理現象を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力及び未知の現象を解明する力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた活力ある人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

物理科学科は人材養成の目的を達成するために、

1. 知的好奇心にあふれ、物理科学に興味・関心がある人
2. 高等学校段階で習得しておくべき物理学の基礎学力を身につけている人
3. 幅広い教養と国際性、および物理科学についての高い能力を身につける意欲を持つ人

の入学を求めています。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人材養成の目的を達成するために、物理科学科では次のカリキュラムを編成しています。

1. 1年次には、入学後すぐに、少人数クラスのリメディアル授業によって、物理科学の基礎を学ぶ準備ができるカリキュラム
2. 1、2年次には、物理科学の初歩の授業に加えて、実験や演習によって、物理科学全般にわたる基礎学力と思考力を養い、また共通教育によって、幅広い教養と国際性、社会性を身につけることができるカリキュラム
3. 3、4年次には、物理科学の専門分野から学生自ら選択した分野について学び、自然に生じる現象や人工的に発生させる現象などを理解し、未知の現象を解明する力を習得できるカリキュラム





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

物理科学科の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 物理学の理解とその応用に必要な論理力、分析力、および創造力
2. 豊かな人間性、社会性、および国際性

